

★記録文化映画賞  
部門選定委員

おかだえみこ、岡部昭彦、寺本直未、登川直樹、野村正昭、半田茂雄、山本克己、渡部実、勝田友巳

■記録文化映画賞(長編)

「住井すゑ 百歳の人間宣言」

(文エンターブレイズ)

受賞作の他、「元始、女は太陽であった—平塚らいてうの生涯」「びぐれっと」「チョムスキー9・11」「人として生きる」「軍隊をすてた国」「雪豹 Snow Leopard」「虹をつかむステージ」「タラウマラの村々にて」が参加。1次投票上位の3作による2度目の投票で「住井すゑ」7、「平塚」1、「雪豹」1。

【講評】大河小説「橋のない川」の著者であり、90歳を過ぎても旺盛な創作活動を続けられた作家・住井すゑさんへのインタビューや講演を中心にまとめられた作品だが、その温かい人柄やユーモラスな語り口に共感するうちに、彼女の人间に対する鋭い洞察力に圧倒される。「人间に貴賤(きせん)なし」のメッセージに強く搖さぶられ、交流のあった人々の証言が、改めて彼女の形象を浮き彫りにする過程は大胆かつスリリングである。受賞を契機に広く上映される機会が増えることを望む。(野村正昭)

■記録文化映画賞(短編)

「未知への航海 すばる望遠鏡建設の記録」  
(ユー・エヌ)

受賞作の他、「石州半紙」「街で子育て 小さな猛きんツミ」「琉球漆器 堆錦」「能楽師」「神々のふるさと 出雲神楽」「With…若き女性美術作家の生涯」がエントリー。1回目に票を集めめた3作で決選。「未知」5、「石州」2、「神々」2で決着。

【講評】ハワイのマウナケア山頂4200㍍に完成した巨大望遠鏡が宇宙をにらむ。カメラは、日本の阪神地方、ハワイ

の高山、アメリカ本土の3地区で同時進行中の異なる作業を約10年間追い続ける。精度が要求される8.2㍍の一枚鏡のたわみや円筒型ドームなど、20世紀科学技術の粋をここに凝らす。「すばる」が日本の科学技術史上空前の研究施設なら、この建設記録映画の完成も画期的だった。語り、解説、製作、演出に女性陣の実力が結集されて夢をかなえる。(岡部昭彦)

■特別賞

故・清川虹子 「檜山節考」「復讐するは我にあり」など269本の映画に出演した名バイ・プレーヤー。個性的な演技で大衆に愛され、大きな功勞を残した。

故・藏原惟繕 「俺は待ってるぜ」などの石原裕次郎主演作やドキュメンタリー「キタキツネ物語」、「南極物語」など大きなスケールの作品で、それぞれ役柄を十分に咀嚼した申し分のない好演を見えた。

整った顔立ちに、時代劇にふさわしい艶が感じられ、スピード感のある動きには軽やかな優雅さがある。あらためて、真田と時代劇の相性のよさが理解できた。

■宣伝賞

最優秀賞 ブエナ ビスタ インターナショナル ジャパン(「モンスターズ・インク」)

優秀賞 ワーナー・ブラザース映画(「ハリー・ポッターと賢者の石」)

■外国映画ベストワン賞

「鬼が来た!」(東光徳間配給)

ぎりぎりのサスペンスと黒い笑いを充てんさせながら、戦争が生む不条理の混乱と破局を鮮やかに描き切った秀作である。第二次世界大戦末期、日本軍占領下の中国華北を舞台に、袋詰めにされて中国人に託された1人の日本兵が、否(いや)応なく時限爆弾のような危機的緊張をもたらしてしまう。監督・主演の姜文は、人間を狂気に走らせる戦争の本質を鋭く突き、同時に人間そのものの本質に迫っている。袋詰めの日本兵を演じた香川照之の好演も称賛に値する。(品田雄吉)

- |           |     |
|-----------|-----|
| ②ハリー・ポッター | 616 |
| と賢者の石     |     |
| ③I am Sam | 408 |
| ④ロード・オブ・ザ |     |
| ・リング      | 376 |
| ⑤スター・ウォーズ |     |
| エピソード2 ク  |     |
| ローンの攻撃    | 348 |

男優主演賞「助太刀屋助六」「たる

# 時代劇の艶

■男優主演賞  
委員全員が真田を挙げ、1回の投票で真田10、長塚京三2、田口トモロヲ1とすんなり決着。

宮沢りえ(たそがれ清兵衛、うつ)

(品田雄吉)

## 「夢うつつ」の存在感



2本の時代劇に出会ったのは偶然ではない。時代劇が彼を求めていたのだ。

(品田雄吉)

【講評】偶然だろうか、真田広之は、「たそがれ清兵衛」「助太刀屋助六」と2本の時代劇に出演した。正統ドラマと喜劇、硬軟二つの作品で、それぞれ役柄を十分に咀嚼した申し分のない好演を見えた。

整った顔立ちに、時代劇にふさわしい艶が感じられ、スピード感のある動きには軽やかな優雅さがある。あらためて、真田と時代劇の相性のよさが理解できた。

【講評】そこで何があつたのかと思うほど、香港映画「華の愛」出演以降、宮沢りえは変わった。少女から大人の女へではなく、現実の女から

見終わつてなお、彼女の姿が瞼から消えない。

「うつつ」でも、まさに夢うつの存在感に酔わされた。

(黒田邦雄)

【講評】中村獅童「タフにしなやか

れるのだ。開高健や小松左京を上回る梁石日のアーティスト文学を映像化しつつ、「北」への帰還劇をこれまでどもさかりえ。通り、「たそがれ清兵衛」では、そこが山田洋次監督のリアリズム世界と絶妙の配合を見せた。見終わつてなお、彼女の姿が瞼から消えない。

(松田政男)



「たそがれ清兵連、故・清川虹子の女優陣などジャンルも世代を超えた曲者役者群を2時間余の長尺に布置してみせた金守珍の腕力すごい。いやスタッフも日韓混成なら、戦後13年目の大阪・在日コリアン集落も海峡を渡って金自身の故地に再現さ

【講評】金守珍 唐十郎ら男優連、故・清川虹子らの女優陣などジャンルも世代を超えた曲者役者群を2時間余の長尺に布置してみせた金守珍の腕力すごい。いやスタッフも日韓混成なら、戦後13年目の大阪・在日コリアン集落も海峡を渡って金自身の故地に再現さ